



TOPICS ① 11月9日は「119番の日」

119番通報するときに気をつけたいポイント

「119番の日」に合わせて、救急の場面を例に通報の流れをご紹介します。この機会に、ぜひ、もしもに備えてイメージしてみましょう。

急に倒れた祖母のために救急車要請する例で流れを確認！



いばらき消防指令センター 指令員

119番、いばらき消防指令センターです。
火事ですか？
救急ですか？

通報者

大宮太郎さん



救急です！

救急車が向かう住所を教えてください。

常陸大宮市●●町○○番地です。水色の車が停まっている家です。

ポイント1

住所がわからないときでも周りを見渡して、目印になる建物や電信柱の番地表示、交差点名などを伝えるようにしましょう。

どなたがどういう状況ですか。

おばあちゃんが胸を抑えて倒れてしまって……。高血圧の薬を飲んでいて、■■■病院に通院しています。

ポイント2

誰が、どのように、どうなったかを簡潔に伝えるようにしましょう。意識や呼吸の有無なども伝えると、必要に応じて、応急手当の案内ができます。

わかりました。今、電話している方の名前と電話番号を教えてください。

大宮太郎です。電話番号は、080- ▲▲▲▲ - ▲▲▲▲です。

ポイント3

詳しい状況や場所を確認するために、再度、電話することがあります。通報後は電源を切ったり、緊急の通話以外で電話を使うことは避けましょう。

ありがとうございます。

今、救急車が向かっていますので、到着までその場でお待ちください。

TOPICS ② 11月9～15日は「秋の火災予防運動」

これからの時期は火災に注意！

今回の火災予防運動の防火標語は「火の確認 いい日を支える いい習慣」です。「特に注意するポイント」に気をつけて、空気の乾燥や、暖房器具の使用で火災が発生しやすいこれらの時期に備えましょう。

特に注意するポイント

住宅火災

ストーブなどの暖房器具を設置するときには、周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。

地震火災

停電復旧後の火災の対策として大きな揺れで感知しブレーカーを落とす「感震ブレーカー」設置が有効です。

林野火災

屋外での火やタバコなどの取扱いに注意しましょう。また、山焼き・野焼きは法律で禁止されています。